



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月3日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社セブン銀行
コード番号 8410 URL <http://www.sevenbank.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二子石 謙輔
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員企画部長 (氏名) 舟竹 泰昭 (TEL) 03-3211-3041
四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
特定取引勘定設置の有無 無
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(表示単位未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	23,036	4.9	8,133	3.4	4,958	7.3
24年3月期第1四半期	21,955	1.4	7,862	△0.6	4,620	△0.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益			
	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期第1四半期	4	16	4	15	4	15
24年3月期第1四半期	3	87	3	87	3	87

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	741,624	126,310	17.0
24年3月期	652,956	125,629	19.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 126,096百万円 24年3月期 125,408百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
24年3月期	—	2,600.00	—	3.60	—
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		3.25	—	3.25	6.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の年間配当は、株式分割前の第2四半期の配当と、株式分割後の期末配当を合計したものであり、株式分割後に換算すると、中間配当は1株当たり2円60銭、年間配当は6円20銭に相当いたします。

3. 平成25年3月期の業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	46,700	5.3	15,800	0.5	9,700	4.6	8	14
通期	93,800	6.2	30,500	3.1	18,700	8.2	15	70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針に該当するため、「会計基準等の改正に伴う会計方針の変更」及び「会計上の見積りの変更」を「有」としております。詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	1,190,949,000株	24年3月期	1,190,908,000株
25年3月期1Q	126株	24年3月期	126株
25年3月期1Q	1,190,912,830株	24年3月期1Q	1,190,882,769株

当社は、平成23年12月1日付で普通株式1株につき1,000株の割合を持って株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。
- ・当社は、平成23年12月1日付で普通株式1株につき1,000株の割合をもって株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
4. 補足情報	7
(1) 単体自己資本比率（国内基準）の状況	7
(2) A T M都道府県別・店舗形態別設置状況	7
(3) A T M利用提携金融機関数	7
(4) 平成24年7月以降のA T M利用提携金融機関	7
(5) 平成25年3月期第1四半期トピックス	7

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。
説明会の音声は、開催後当社ホームページで掲載する予定です。

平成24年8月3日（金） アナリスト・機関投資家向け決算説明会（電話会議）

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

・当期間の経営成績

当第1四半期におけるわが国の景気は、復興関連需要などから公共投資を中心に国内需要が堅調に推移し、金融緩和にも支えられ、緩やかながら回復傾向を示しています。

こうした環境の下、当第1四半期の当社業績は、経常収益23,036百万円、経常利益8,133百万円、四半期純利益4,958百万円となりました。

A T M利用件数の堅調な推移による経常収益の増加が、第3世代A T Mへの入れ替え等に伴う経常費用の増加を上回り、経常利益、四半期純利益ともに増益となりました。

(経営成績)

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期間比
経常収益	21,955	23,036	4.9%増
経常利益	7,862	8,133	3.4%増
四半期純利益	4,620	4,958	7.3%増

サービス別の概況は、以下のとおりであります。

①A T Mサービス

当第1四半期も、セブン&アイH L D G S. グループ内外へのA T M設置推進、提携先の拡大等により、A T Mをご利用いただくお客さまの利便性向上に努めました。この結果、平成24年6月末現在のA T M設置台数は16,887台（同年3月末比1.5%増）となりました。また、A T M1日1台当たり平均利用件数は112.6件（前年同期間比3.0%減）となりました。これは前第1四半期の特殊要因（預貯金融機関が節電対応で店舗外A T Mを休止）により一時的に増加したA T M利用件数が例年同様の水準に戻ったことによるものです。一方でA T M設置台数は順調に増加したため、総利用件数は170百万件（同4.7%増）となりました。

なお、平成24年6月末現在の提携金融機関数は、新規提携等により同年3月末比3社増加し580社（注）となりました。

（注）J Aバンク及びJ Fマリンバンクについては、業態としてそれぞれ1つとしています。

②金融サービス

平成24年6月末現在、個人のお客さまの口座数は1,001千口座（同年3月末比3.0%増）、個人向けローンサービスの契約口座数は19千口座（同11.3%増）となりました。

また、平成23年3月から開始した海外送金サービスは契約口座数、送金件数ともに順調に増加し、平成24年6月末現在の契約口座数は16千口座（同53.4%増）、当第1四半期の送金件数は30千件（前年同期間は4百件）となりました。

	平成24年3月期			平成25年3月期		
	第1四半期	第2四半期 累計期間	通期	第1四半期	第2四半期 累計期間 (予想)	通期 (予想)
(A T Mサービス)						
■A T M1日1台当たり 平均利用件数	116.1件	115.1件	112.6件	112.6件	113.0件	111.9件
■A T M期間総利用件数	163百万件	328百万件	655百万件	170百万件	347百万件	698百万件
■A T M台数	15,635台	16,005台	16,632台	16,887台	約17,100台	約17,700台
(セブン銀行口座)						
■個人口座数	907千口座	927千口座	971千口座	1,001千口座	—	—
■個人預金残高	2,234億円	2,288億円	2,192億円	2,235億円	—	—
うち普通預金残高	1,101億円	1,124億円	1,255億円	1,292億円	—	—
うち定期預金残高	1,132億円	1,164億円	937億円	942億円	—	—
■個人向けローン契約口座数	10千口座	12千口座	17千口座	19千口座	—	—
■個人向けローン残高	6億円	11億円	19億円	23億円	—	—
■海外送金サービス契約口座数	0千口座	2千口座	10千口座	16千口座	—	—
■海外送金件数	0千件	3千件	32千件	30千件	—	—

(2) 財政状態に関する定性的情報

総資産は、741,624百万円となりました。

このうちA T M運営のために必要な現金預け金が384,775百万円と過半を占めております。この他、主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保として必要な有価証券残高が119,414百万円、提携金融機関との一時的な立替金であるA T M仮払金が155,063百万円となっております。

負債合計は、615,314百万円となりました。

このうち主なものは預金であり、その残高(譲渡性預金を除く)は350,160百万円となっております。なお、個人向け普通預金残高は129,220百万円、定期預金残高は94,280百万円となっております。

純資産合計は、126,310百万円となりました。

このうち利益剰余金は65,073百万円となっております。

(財政状態)

(単位:百万円)

	前事業年度	当第1四半期	増減
総資産	652,956	741,624	88,667
負債	527,326	615,314	87,987
純資産	125,629	126,310	680

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点では平成24年5月11日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ48百万円増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
現金預け金	368,518	384,775
コールローン	23,000	41,000
有価証券	98,813	119,414
貸出金	1,916	2,366
前払年金費用	0	—
未収収益	7,206	7,690
A T M仮払金	123,554	155,063
その他資産	1,231	1,340
有形固定資産	10,954	12,459
無形固定資産	16,693	16,630
繰延税金資産	1,146	988
貸倒引当金	△77	△104
資産の部合計	652,956	741,624
負債の部		
預金	331,581	350,160
譲渡性預金	40,690	30,300
コールマネー	19,000	28,300
借入金	24,000	38,600
社債	54,000	84,000
A T M仮受金	42,578	52,350
その他負債	15,160	30,994
賞与引当金	315	595
退職給付引当金	—	12
負債の部合計	527,326	615,314
純資産の部		
資本金	30,505	30,509
資本剰余金	30,505	30,509
利益剰余金	64,401	65,073
自己株式	△0	△0
株主資本合計	125,413	126,091
その他有価証券評価差額金	△4	4
評価・換算差額等合計	△4	4
新株予約権	220	214
純資産の部合計	125,629	126,310
負債及び純資産の部合計	652,956	741,624

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
経常収益	21,955	23,036
資金運用収益	105	110
(うち貸出金利息)	22	82
(うち有価証券利息配当金)	67	12
役務取引等収益	21,827	22,914
(うちATM受入手数料)	20,986	21,750
その他業務収益	—	4
その他経常収益	21	7
経常費用	14,093	14,902
資金調達費用	523	377
(うち預金利息)	150	106
役務取引等費用	2,621	2,843
(うちATM設置支払手数料)	2,460	2,598
(うちATM支払手数料)	88	111
その他業務費用	1	162
営業経費	10,921	11,490
その他経常費用	25	28
経常利益	7,862	8,133
特別損失	54	126
固定資産処分損	54	19
減損損失	—	107
税引前四半期純利益	7,807	8,006
法人税、住民税及び事業税	3,016	2,896
法人税等調整額	170	151
法人税等合計	3,187	3,048
四半期純利益	4,620	4,958

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 単体自己資本比率（国内基準）の状況

	平成24年6月末	(参考) 平成24年3月末
単体自己資本比率（国内基準）	52.31%	53.25%
単体Tier I 比率	53.11%	54.10%

(2) A T M都道府県別・店舗形態別設置状況（平成24年6月末現在：47都道府県 16,887台）

地域	台数	セブンイレブン			イトーヨーカードー			他	
		セブンイレブン	イトーヨーカードー	他	セブンイレブン	イトーヨーカードー	他		
北海道	911	871	13	27	滋賀県	194	188	—	6
青森県	7	—	4	3	京都府	242	227	1	14
岩手県	84	80	1	3	大阪府	826	702	11	113
宮城県	380	349	2	29	兵庫県	499	446	7	46
秋田県	8	3	—	5	奈良県	88	80	2	6
山形県	154	151	—	3	和歌山県	50	46	—	4
福島県	404	383	3	18	鳥取県	3	—	—	3
茨城県	631	593	4	34	島根県	12	9	—	3
栃木県	428	395	4	29	岡山県	250	234	1	15
群馬県	419	406	2	11	広島県	451	440	1	10
埼玉県	1,116	992	42	82	山口県	265	257	—	8
千葉県	1,027	919	35	73	徳島県	3	—	—	3
東京都	2,480	2,067	77	336	香川県	3	—	—	3
神奈川県	1,276	1,112	60	104	愛媛県	5	—	—	5
新潟県	511	491	5	15	高知県	3	—	—	3
富山県	84	80	—	4	福岡県	791	749	—	42
石川県	56	50	—	6	佐賀県	153	149	—	4
福井県	38	34	—	4	長崎県	104	100	—	4
山梨県	179	173	1	5	熊本県	266	254	—	12
長野県	420	403	7	10	大分県	101	98	—	3
岐阜県	106	96	1	9	宮崎県	151	148	—	3
静岡県	794	736	8	50	鹿児島県	64	61	—	3
愛知県	791	734	8	49	沖縄県	3	—	—	3
三重県	56	49	—	7	合計	16,887	15,355	300	1,232

(3) A T M利用提携金融機関数（平成24年6月末現在）

銀行	信用金庫	信用組合	労働金庫	JAバンク	JFマリンバンク	商工組合中央金庫	証券	生命保険	その他金融機関 (クレジットカード会社等)	合計
108	265	132	13	1※	1※	1	9	8	42	580

※JAバンク及びJFマリンバンクについては、業態としてそれぞれを1つとしております。

(4) 平成24年7月以降のA T M利用提携金融機関（平成24年8月3日現在 既公表）

金融機関	時期	金融機関	時期
徳島銀行	平成24年10月頃	富山銀行	平成25年1月頃
香川銀行	平成24年10月頃	阿波銀行	平成25年3月頃
大垣共立銀行	平成24年11月頃	伊予銀行	平成25年春頃

(5) 平成25年3月期第1四半期トピックス（平成24年4月～6月）

- ・ 4月 中国・大連信華社に銀行事務の一部を業務委託開始
- ・ 5月 西日本シティ銀行とA T M利用提携開始
- ・ 5月 百十四銀行とA T M利用提携開始
- ・ 5月 北都銀行とA T M利用提携開始
- ・ 6月 セブン銀行口座が100万口座を突破